

青少年ひょうご No. 86



特集

インターネットの危険から 青少年を守るために

編集・発行 2014年10月発行

公益財団法人兵庫県青少年本部

〒650-0011

神戸市中央区下山手通 4-16-3

兵庫県民会館 8階

TEL078-891-7410 FAX078-891-7418

HP <http://www.seishonen.or.jp/>

〈地方青少年本部〉

阪神南青少年本部 06-6481-4634	西播磨青少年本部 0791-58-2131
阪神北青少年本部 0797-83-3138	但馬青少年本部 0796-26-3648
東播磨青少年本部 079-421-9105	丹波青少年本部 0795-72-5168
北播磨青少年本部 0795-42-9352	淡路青少年本部 0799-26-2048
中播磨青少年本部 079-281-9198	神戸事務局 078-382-8249

CONTENTS

- P 2 ★特集★
インターネットの危険から青少年を守るために
- P 5 ★危険ドラッグは買わない 使わない かかわらない
- P 6 ★本部事業報告★
・第42回兵庫・沖縄夏期友愛キャンプに参加して
・少年の主張兵庫県大会
「中学生のメッセージ2014」
・平成25年度ほっとらいん相談状況
・はばタン会員の成婚カップル300組突破
- P 8 ★地方青少年本部通信★
・夏休み子ども木工教室（神戸）
・小学生のスナッグゴルフ大会（阪神南）
・宝塚フォーラム「夏休み親子観賞会」（阪神北）
・第35回未来をひらく少年会議（北播磨）
・たんば子ども塾（丹波）
・第30回淡路青少年の主張大会（淡路）
- P 10 ★青少年施設だより★
・県立こどもの館
・県立神出学園
・県立山の学校
- P 11 ★青少年活動の現場から⑤
・（一社）ガールスカウト兵庫県連盟
・兵庫県青年洋上大学同窓会
- P 12 ☆～information～
☆ 賛助会員募集

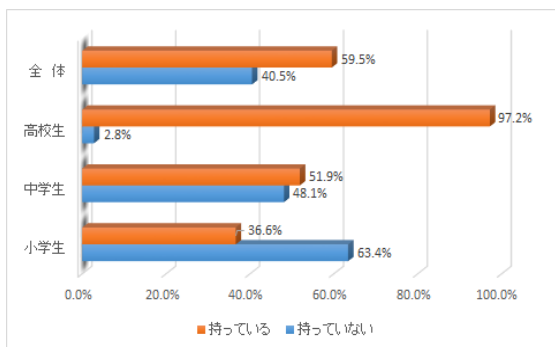
インターネットの危険から青少年を守るために

スマートフォン等の普及により、手軽にインターネットが利用できるようになり、非常に便利になった反面、交流サイトを通じた犯罪やネットいじめなどに青少年が巻き込まれる危険も、より身近なものになっています。

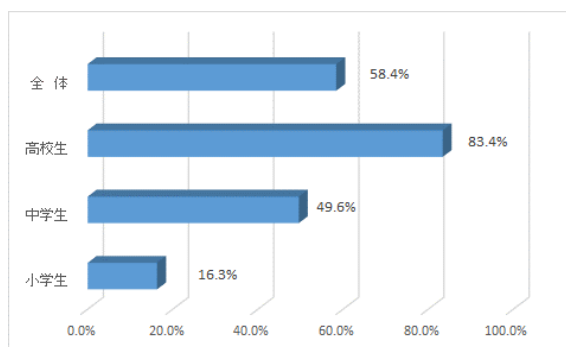
兵庫県青少年本部では、青少年が安全に安心してインターネットを利用できる環境づくりを進めるため、「青少年のネットトラブル未然防止大作戦」を重点事業に掲げ、関係機関とのより一層の連携強化や保護者等への普及啓発に取り組んでいます。

青少年を取り巻くインターネット利用の現状

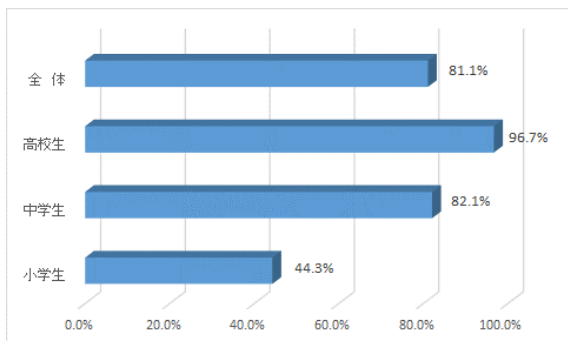
スマートフォン、ケータイを所有する割合は、小学生では3割台後半、中学生では約5割、高校生では9割台後半



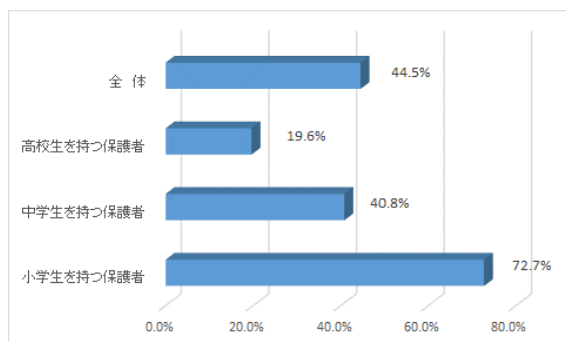
青少年が所有するスマートフォン、ケータイのうち、スマートフォンの占める割合は、小学生では1割台後半、中学生ではほぼ5割、高校生では8割台前半



スマートフォン、ケータイでインターネットを利用している青少年の割合は、小学生では4割台半ば、中学生では8割台前半、高校生では9割台後半



「子どもよりインターネットに詳しい」と回答した保護者の割合は、小学生では7割台前半、中学生では約4割、高校生では約2割



「平成25年度青少年のインターネット利用環境実態調査」(内閣府)より

子どもたちに忍び寄る危険！！

さまざまなトラブルや犯罪に巻き込まれたり、不適切な利用で意図せず加害者になってしまうケースも発生しています。



ネット依存

食事中・入浴中もスマホが手放せない。



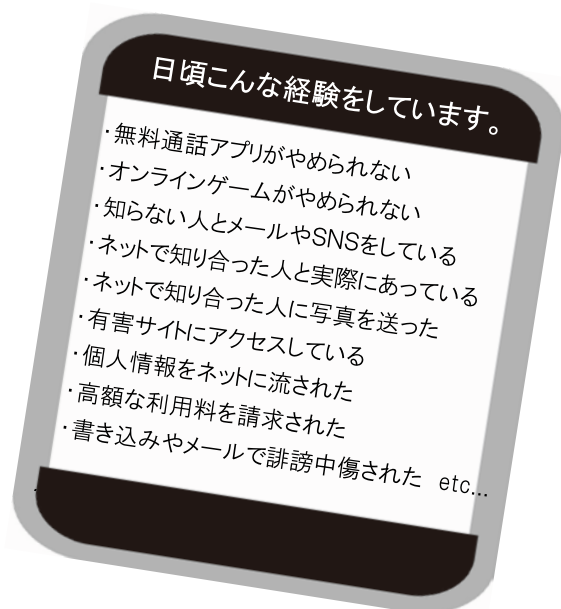
ネットいじめ

無料通話アプリで返信しなかったら、いじめの対象に！？



高額請求

ゲームに必要なアイテムを入手したら、有料だった。



兵庫県青少年本部の取り組み ～青少年のネットトラブル未然防止大作戦の展開～

関係機関等との連携強化

「青少年のネットトラブル未然防止大作戦」推進会議を設置

子どもとネット問題に造詣の深い兵庫県立大学准教授の竹内和雄氏を座長に、兵庫県・兵庫県警・兵庫県教育委員会・PTA・青少年団体等で構成する推進会議を立ち上げ、未然防止大作戦の円滑な実施に向けた支援・協力や、青少年の安全安心なインターネット利用にかかる取組の協議・検討を行っています。

「青少年育成全県スクラム会議」で協議・検討

地域・学校・保護者・事業者・行政が一体となって、青少年の健全育成の方策、非行・被害防止等について検討・協議する場である「青少年育成全県スクラム会議」（7月1日開催）で、早急な対応が求められている青少年のインターネット利用対策について意見交換を行い、連携した取組やそれぞれの主体的な取組へのより一層の協力・支援を求めました。



青少年のインターネット利用の現状を兵庫県立大学竹内准教授が概説

「スマホサミット in ひょうご」の開催

青少年のインターネットの利用の実態や危険性を正しく理解し、適切な指導や啓発が行えるよう、家庭・学校・地域の関係者が子どもたちとともに考え、学び、取組の輪をさらに広げる機会とします。

- ・開催日時 平成27年2月28日(土)13:30～16:30
- ・開催場所 兵庫県民会館11階 「パルテホール」
- ・内容 ○中高生による先進事例発表、公開討論会
○ひょうごケータイ・スマホアンケート結果報告
○ひょうごスマホ宣言（仮称） など

インターネット（親子）学習会の支援

青少年と保護者の情報リテラシー習得・向上のための学習会に対して助成しています。



保護者等への普及啓発

「青少年のインターネット利用環境づくりフォーラム in 兵庫」の開催

青少年、保護者、教職員等を対象に内閣府と兵庫県の共催により開催される標記フォーラムに協力団体として参画しています。

- ・開催日時 平成26年11月28日(金)10:00～16:15
- ・開催場所 神戸クリスタルタワー「クリスタルホール」
- ・内容 ○講演「スマホ時代の大人が知っておきたいこと」
○パネルディスカッション など

「青少年のネットトラブル未然防止」メッセージコンテストの実施

中学生以上を対象に「青少年のネットトラブル未然防止」をテーマに、兵庫県青少年を守る店連絡協議会との共催により、意見や提案、願いを盛り込んだ標語を募集し、優秀作品を表彰するとともに、啓発活動等に活用していきます。



「ひょうごケータイ・スマホ アンケート」の実施

県内の子どもたちのケータイ・スマホ利用の現状等を把握するアンケート調査を小学校高学年、中・高校生を対象に行い、その結果をスマホサミットで発表します。

アンケート項目については、兵庫県青少年団体連絡協議会を通じて呼びかけた中高生による「兵庫県のスマホ問題を考える会」が、兵庫県立大学竹内准教授の指導のもと、事前に「アンケート項目検討会」を開催し、検討・協議した内容を反映しています。

青少年がインターネットを適切に利用するために！！

◇家庭での取り組み

青少年がインターネットを適切に利用できるようになるためには、まず保護者がインターネットやスマートフォンなどの特徴を理解し、青少年を見守ることが大切です。

① 発達段階や利用経験に応じたインターネットの利用

インターネットに関する知識・技術・情報モラルやコミュニケーション能力の向上を図り、インターネットを“使いこなす力”を子どもに身につけさせるとともに、情報モラルやインターネットの危険性への習熟度を確認しながら、子どもの成長に合わせて、利用範囲やサービス、使用機器を見直していきましょう。

② 家庭でのルールづくり

保護者が子どもの利用実態を適切に把握・管理するとともに、一方的にルールをつくり与えるのではなく、何のために必要なのか、どのように使うのかなど、子どもと利用方法等を話し合しましょう。

また、子どもにスマートフォンなどを買い与える前に、まずルールをつくるのが、より効果的です。

ルールづくりのエッセンス

- ① 個人情報を書き込まない。
- ② 利用しない時間を決める。
- ③ フィルタリングを利用する。

◇地域、学校での取り組み

PTA、生徒会、学校等が一体になって小中学生を対象に「夜9時以降は、SNSはダメ運動」を呼びかけたり、高校生が教職員にスマホの操作方法や生徒の利用実態を説明する講義を実施するなど、様々な取り組みが県下に広がっています。

【兵庫県での相談窓口】

県警本部 サイバー犯罪対策課	078-341-7441 (代表)
県警本部少年育成課 少年相談室「ヤングトーク」	0120-786-109 (平日9:00～17:30)
ひょうごっ子 悩み相談センター	0120-783-111 (毎日9時～21時) 0795-42-6559 (毎日21時～9時)
ひょうごっ子 「ネットいじめ情報」相談窓口	06-4868-3395 (月～土14時～19時)
消費者ホットライン (消費者問題)	0570-064-370
兵庫県精神保健福祉センター	078-252-4980

◇小さなことでも気軽に相談

トラブルや困ったことがあったら、すぐに保護者に相談するよう話しておきましょう。そのためには、日頃から子どもと十分なコミュニケーションをとり、気軽に相談できる環境をつくっておくことが大切です。

また、トラブルが起きたときに慌てないよう、事前に対応方法や相談窓口を確認しておきましょう。

フィルタリングでストップ！！有害サイト

兵庫県では、青少年愛護条例において、青少年のスマートフォン、携帯電話へのフィルタリング利用を原則義務化しています。

フィルタリングをすると、LINE等のアプリが使えなくなると多くの保護者が誤解していたり、「うちの子は大丈夫」など、保護者の危機意識が低いことなどから、利用率が低下しています。

警察庁の調べでは、フェイスブックなどのコミュニティサイトを利用して性犯罪等に遭った子どもの9割以上がフィルタリングを利用していなかったという状況もあり、啓発ポスターを携帯電話ショップやコンビニエンスストアに掲出したり、携帯電話販売店を訪問し、保護者への丁寧な説明を要請するなど、フィルタリング利用向上対策に取り組んでいます。



危険ドラッグは買わない 使わない かかわらない

危険ドラッグの吸引が原因とみられる交通事故や違反が、全国的に急増しています。

兵庫県内でも、昨年1件だった発生が、今年は既に10件発生しており、吸引直後に車を運転して人身事故につながったケースも2件発生しています。吸引後に緊急搬送されるケースも増加しています。

危険ドラッグは大変危険！

- ・ 誰がどこで製造したかも分からない・・・
- ・ どんな成分が含まれているかも分からない・・・
- ・ どんな健康障害がでるかも分からない・・・

危険ドラッグは、「合法ハーブ」、「お香」、「アロマオイル」、「アロマリキッド」、「バスソルト」などと称していますが、実際には、薬物乱用をおおる目的で販売されており、危険なものです。



使用すると呼吸困難を起こしたり、死亡したりすることがあり、異常行動を起こして他人に危害を加えたりすることがあります。また、依存によりやめられなくなる恐れが強く、覚醒剤、麻薬などと同じか、それ以上の恐ろしさをもっています。

インターネット、繁華街の店や自動販売機で販売されるなど、容易に購入できることから、麻薬や覚醒剤等の薬物乱用への入口としても問題になっています。

兵庫県では、このような状況を受け、危険ドラッグの販売や使用を規制するため新たに条例を制定し、12月から全面施行されることになっています。

もしも・・・

- 薬物について悩んでいる
- 手を出してしまった
- 友達から進められている
- 友達が手を出してしまっている
- 友達が買おうとしている など



一人で
悩まないで
相談！

兵庫県精神保健福祉センター
TEL 078-252-4980
兵庫県薬務課 TEL 078-362-3270
健康福祉事務所（保健所）

出典：厚生労働省「薬物について誤解をしていませんか??」



ひょうご国際プラザ

～ひろげよう、国際交流の輪～

国内・海外の情報誌や話題の本など多彩な書籍を備えた国際情報センターや観光・交通のパフレット等を取り揃えた外国人ビジターズセンターがあります。集い、学び、国際交流を実践するための場所、情報を提供しています。



【問合せ先】
TEL: 078-230-3060
FAX: 078-230-3080
http://www.hyogo-ip.or.jp
神戸市中央区脇浜海岸通 1-5-1
国際健康開発センター2F
(公財)兵庫県国際交流協会

自然災害から「住まい」「家財」を守る

フェニックス共済

(概要)



共済制度の種類	負担金	被害認定	給付金
住宅再建 (※1)	年額 5,000 円	半壊以上	最高 600 万円
一部損壊特約 極&1開始	年額 500 円	一部損壊 (損害割合 10%以上)	補修時等 25 万円
家財再建 (※2)	年額 1,500 円	半壊以上 又は 床上浸水	最高 50 万円

(※1) 分譲マンションにお住いの方も加入できます。
(※2) 借家にお住いの方も加入できます。

(公財)兵庫県住宅再建共済基金
TEL 078-362-9400 (平日 9:00~17:00)

フェニックス共済

検索 <

第42回兵庫 沖繩 友愛キャンプに参加して

「第42回兵庫・沖繩夏期友愛キャンプ」が8月28日～31日にかけて開催されました。次代を担う兵庫と沖繩の青年が、ともに郷土の自然や文化に触れ、歴史を学ぶことで、友愛の絆を深め、その中でこれからの社会のあり方を考える貴重な事業です。

私は、この友愛キャンプで初めて沖繩の地を訪問しました。今回のキャンプに参加するまで、兵庫と沖繩の縁はもとより、太平洋戦争末期、最大の激戦と言われた沖繩戦で、沖繩県知事として多くの県民を救ったのが、兵庫県出身の島田勲氏であったということも、恥ずかしながら知りませんでした。

このキャンプでは、島田知事を偲ぶ学習で「平和な社会を築くためにそれぞれが今後どのようなことができるか」について語り合ったり、実際に当時の県庁壕や野戦病院だった糸数壕（アブチラガマ）を見学したりと、沖繩の悲惨な戦争の傷跡を直接肌で感じることができました。



また、野外でのテント設営や夕食のカレーづくりをはじめ、現代版琉球組踊り体験、沖繩の伝統的な帆掛け船サバニ体験など、ツアー旅行や個人旅行では決して体験出来ない充実した4日間を過ごすことができました。

温かいおもてなしの心で迎えて下さり、大いに語り合った沖繩の皆さんのことはこれからも忘れないでしょう。

また、今後、兵庫県民として忘れてはならない英霊、故島田勲知事のこと、語り継いで行きたいと思います。



参加者代表 秋山 朋子

※冬期友愛キャンプは、沖繩の青年を兵庫に迎え、平成27年2月11日（水・祝）～14日（土）に実施する予定です。

少年の主張兵庫県大会「中学生のメッセージ2014」

県内の中学生たちが日常生活や団体活動等の体験を通し、考えていることや感じていること、将来の夢など広く県民に伝える「少年の主張兵庫県大会」を9月28日（日）に兵庫県民会館で開催しました。

当日、応募者9,686人の中から各地区で選抜された10人の中学生が、それぞれの主張を力強く発表しました。

アトピー性皮膚炎の悩みを親や友人の支えで乗り越えた体験を語った西宮市立学文中学校の高岡里帆さんが、最優秀賞に選ばれました。

★最優秀賞

「人の支え」

西宮市立学文中学校2年 高岡 里帆

★優秀賞

「心友」

姫路市立豊富中学校3年 白倉 紅葉

「福祉体験から見つけた僕の夢」

香美町立香住第二中学校3年 吉田 拓海

★奨励賞

「スマホ依存」

滝川第二中学校1年 上泉 愛

「闇で行ういじめ」

猪名川町立猪名川中学校2年 和田 なごみ

「『賢い利用者』になるために」

加古川市立中部中学校3年 大賀 瑠奈

「将来の夢を考える」

小野市立小野中学校2年 小林 秀太

「私の居場所」

宍粟市立山崎西中学校3年 平田 かれん

「夢を持った僕」

丹波市立和田中学校2年 堂本 泰暉

「憧れを現実」

洲本市立青雲中学校2年 立田 彩葉



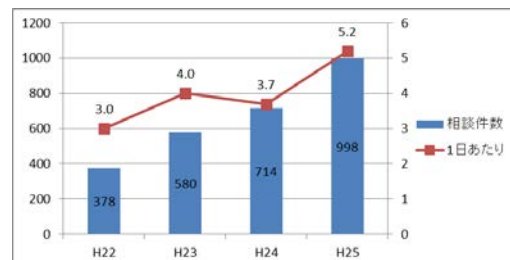
平成25年度ほっとらいん相談状況

青少年本部では、ひきこもり・不登校・いじめなどの課題を抱える子ども・若者を支援するため、青少年のための総合電話相談「ほっとらいん相談」を実施しています。このたび、平成25年度の相談状況をまとめました。

相談件数は、開設以来、年々増加

相談件数は、平成22年度開設以降年々増加しており、昨年度は998件（対前年比139.8%）と、過去最高となりました。

一日あたりの件数も5.2件（対前年度比140.5%）と大幅に増加しました。



ひきこもりと不登校に関する相談が9割

相談内容を見ると、「ひきこもり」が804件（80.6%）、不登校が111件（11.1%）となっており、これらの相談で全体の約9割を占めており、例年ほぼ同様の傾向が続いています。

当事者の性別は圧倒的に男性、年代別では30代がほぼ半数

当事者の性別では、男性が813件（81.5%）と圧倒的に多くなっており、年代別では、30代が498件（49.9%）と最も多く、ほぼ半数を占めています。この年代のひきこもりの背景には、職場でのパワハラや良好な人間関係が築けないなどの問題が増え始めていることがあると思われます。



相談者は本人からの相談が最も多く、本人以外で母親が多い

相談者は本人が677件（67.8%）と最も多く、本人以外の相談者では、母親が274件（27.5%）、父親が18件（1.8%）と、圧倒的に母親からの相談が多く、母親が問題を一人で抱え込み悩んでいる状況がうかがえます。



今年度より相談日を週4日から週5日に拡充し、ひきこもりの専門相談（年齢不問）も受け付けています。専門スタッフがお待ちしていますので、悩みを抱え込まないで、お気軽に電話してみてください。

実施日時 月・火・水・金・土曜日（祝日及び年末年始を除く）
午前10：00～12：00 及び 13：00～16：00

はばタン会員の成婚カップル300組突破

平成23年2月にスタートした「ひょうご縁結びプロジェクト」は、約3年4か月で会員同士の成婚数が、300組を超えました。

平成23年5月に1組目の成婚カップルが誕生してから、1年半後の平成24年11月に100組目、その11か月後の平成25年10月に200組目が誕生し、その後約7か月半で300組突破となりました。

お見合いから、成婚に至るまでの交際期間は、最短が1か月半、最長が2年10か月で、1年以内の成婚が67.0%を占め、成婚カップルの平均年齢は、男性38.4歳、女性34.7歳となっています。

今後も、出会いサポートセンターでは、男女に良い出会いがあるよう、様々な出会いの機会と場を提供していきます。

「ひょうご縁結びプロジェクト」

県内10か所の地域出会いサポートセンターで、はばタン会員として登録いただいた独身男女に1対1のお見合いの機会を提供しています。

会員制：兵庫県内在住・在勤・在学の独身男女を対象
登録手数料：5,000円（年度末まで）
ホームページ：<http://hdsc.seishonen.or.jp/>



●地方青少年本部通信●

青少年育成や地域づくりの分野での様々な活動を各県民局（地方青少年本部）単位で推進・支援する地域活動コーディネーターが、地域のイベントや催事などを紹介します。今回は、次の6つの本部からの報告です。

神戸
事務部

～また、来年も作りたい♪～ 夏休み子ども木工教室

毎年好評をいただいている「夏休み子ども木工教室」を、今年も8月1日（金）に神戸市総合児童センターで開催しました。

兵庫県産の杉角材を利用しての作品作り。神戸市子ども会連合会の方々からのご指導を受けながら、普段、あまり使うことのない、のこぎりや金づちを持って、子どもたちの挑戦が始まります。

すると…のこぎりがまっすぐ引けない、切る長さを間違えた、くぎが曲がるなどのトラブルが続出。



でも、子どもたちは、お父さんやお母さんと協力しながら、誰ひとり投げだすことなく黙々と作り続けました。いよいよ出来上がり！自分の作品を見て、みんな笑顔です。

角材から、ひとつの作品ができあがっていくことに驚き、また感動した様子で、ものづくりの楽しさを味わってくれたようでした。

「また来年も作りたい♪」と親子で話しながら帰る姿は微笑ましく、夏休みの楽しい思い出のひとつになったことでしょう。

（松本 佳世子）



阪神南
青少年本部

～ゴルフで子どもたちに夢を～ 小学生のスナッグゴルフ大会

夏真っ盛りの8月18日（月）、西宮カントリー倶楽部で「小学生のスナッグゴルフ大会」を西宮市ゴルフ協会との共催事業として実施しました。

お父さん・お母さんたちが木陰から！？見守る中、参加した102名の小学生は暑い日差しのもと、練習の成果を思い存分に発揮し、仲良くプレーしました。

スコアを競い合うスポーツ的要素もありつつ、他者のプレーを敬い見習うという姿勢も



感じました。

また、西宮市ゴルフ協会のスタッフからは、プレー前には挨拶をするなど、周囲の人たちや道具への感謝の気持ちを醸成する道徳的要素も習いました。

暑い中でしたが、元気で健全なこころを育む貴重な機会となるひと夏の思い出になったのではないのでしょうか。

（森岡 良子）



阪神北
青少年本部

～こころ豊かにのびよう！のぼそう！ひょうごっ子～ 宝塚フォーラム「夏休み親子観賞会」

8月24日（日）、宝塚大劇場で“こころ豊かにのびよう！のぼそう！ひょうごっ子”宝塚フォーラム「夏休み親子観賞会」を開催しました。例年2月に開催のところを、今年は宝塚歌劇100周年ということで、特別に夏休み中の8月にも開催しました。3歳から大学生までの子どもとその保護者、約2,500人が参加しました。

第1部では、夢ある子どもたちのふるさとや未来に対する“想い”を、「みらいっ子メッセージ」として募



集し、応募者の中から選ばれた小、中、高校生の代表5名の子どもたちに発表していただきました。

第2部「宝塚歌劇花組公演」では、1996年の初演以来宝塚歌劇を代表する人気ミュージカルとなっている「エリザベトー愛と死の輪舞（ロンド）ー」を観賞し、素晴らしい舞台芸術にふれました。参加者の皆さんからは「また参加したい。」「これからも続けてほしい。」といった多くの声をいただきました。

（川上 恵美子）



北播磨
青少年本部

～自然とつながる、人とつながる、未来につながる～
第35回 未来をひらく少年会議

8月27日(水)に県立嬉野台生涯教育センターで、北播磨・東播磨地区の中学生123人が参加し、「明日の加古川流域の環境を創造する」をテーマに「第35回未来をひらく少年会議」を開催しました。県環境政策課による県環境基本計画の説明の後、兵庫教育大学大学院の南埜猛教授による「加古川流域の水資源～水から見た北播磨・東播磨の環境を考える～」と題した講演では、中学生が加古川流域の水資源や先人の治水方法を学びました。

続くワークショップでは、ファシリテーターのNPO 法人生涯学習サポート



兵庫の菅野将志さんの進行で、15グループに分かれた中学生が「未来の水辺の風景を考える～先人たちの知恵と私たちの知恵～」をテーマに、各自が撮影した身近な風景写真の中から1枚を選び、その風景の維持方法等についての意見交換と標語を作成し、役割を決めて発表しました。

中学生は、治水の歴史や先人の苦労を学び、身近な環境の大切さや加古川流域の環境維持を考える有意義な一日となりました。

(笹倉 綾子)



丹波
青少年本部

～先生は高校生！生徒は小学生！～
たんば子ども塾

7～8月にかけて、「たんば子ども塾」を開催しました。丹波地域(篠山市・丹波市)の7つの県立高校を小学生たちが訪ね、高校生が先生となって、調理実習や科学実験などいろいろな講座で学習しました。

子どもたちは、高校生のお兄さん・お姉さん先生の手ほどきを受けながら、普段できない体験に目を輝かせて取り組んでいました。飛行機づくりの講座では、滞空時間競争が白熱！子どもも大人も一緒になって



楽しんでいたのが印象的でした。

実際に自分の目で見て、手で触れる"体験"

は、子どもたちにとって欠かせないものです。参加者からは「科学実験でとてもびっくりしたけど、楽しかった」「また家でもやってみよう」といった声をいただきました。科学実験やコミュニケーションゲーム、ものづくりなど、バラエティ豊かな内容の講座に触れることで、自分が好きなことをもう一度確認したり、新しいことに興味がわいたり、新しい発見のある夏休みになったようです。

(赤尾 実紗)



淡路
青少年本部

～淡路島への思い、将来の夢～
第30回淡路青少年の主張大会

8月23日(土)に、「第30回淡路青少年の主張大会」を開催しました。島内の小中学校から1,457作品の応募があり、小学生12名、中学生6名計18名の入選者が、日ごろの思いや伝えたいことを発表しました。

また、第30回記念大会であり、淡路県民局、淡路教育事務所と共催し、小学5、6年生には淡路ふるさと学習副読本「ふるさと淡路島」、あわじ環境未来島副読本「みらい」の2冊を課題図書として、またその他の学年には参考図書としました。



小学生低・中学年の部では、家族への思いや将来の夢について、また、小学生高学年の部では、淡路島の伝統文化や自然豊かな淡路島への思いを語りました。中学生の部では、将来の夢や平和への思いを熱く語りました。大人顔負けの主張に、審査員をはじめ聴衆も感銘を受けました。

大会の運営には、洲本高校放送部、洲本実業高校ボランティア同好会の皆さんの協力をいただきました。

(木戸 さやか)



平成26年4月1日 兵庫県青少年本部が県立こどもの館の指定管理者となりました。

県立こどもの館は、大型児童館として、子どもたちが家族や団体に訪れて、遊んだり、表現活動をしたり、図書活動や工作活動したりすることを通して、多くの人とふれあい、学び、楽しむことができる機会と場を提供しています。

また、県内の児童館の中核施設として、子どもたちの健やかな育成に携わる機関や団体のネットワークづくりを行うとともに、保護者や指導者が相談や学習、研究活動を行う機会と場を提供し、次代を担うこころ豊かな子どもたちの健全育成をめざしています。

★「おもな施設」

親子遊戯室

就学前のお子さんが自由に遊べるスペースです。毎月第3土曜日には子育てを支援する「まちの保健室」を開いています。



木のふれあいワールド

木の砂場や大型積み木などがあり、木のぬくもりを感じながら遊べます。
水・金・土・日・祝日の
10:30~12:30
13:30~15:30



多目的ホール

なかよし会や創作あそび、伝承あそび、人形劇など、いろいろなイベントを実施しています。子育て支援の研修会や講座なども開催しています。



円形劇場

多世代ふれあい交流サロンや劇団公演、かみしばい会、わくわくシアターなど実施し、夏にはおばけの館などのイベントも開催しています。



工作館、実習室、図書室、研修室なども設置しています。

★家庭や地域の子育てを支援する主な事業

「動く・こどもの館号」

県内各地に開設された「まちの子育てひろば」に体験活動指導員を派遣し、集まった親子を対象に音楽あそびや体操あそび、わらべうたあそびなどの体験活動の指導を行っています。



「子育て電話相談」

子育てや子どもの発育に関する不安や悩み等をお持ちの方に対する電話相談を行っています。

専用電話番号079-266-4133(ヨイミ)

(開館日の月水木金 受付時間 9:30-12:30、13:30-16:30)

問い合わせ先 県立こどもの館 TEL079-267-1153
姫路市太市中915-49

不登校から元気・友達・希望へ

県立神出学園

県立神出学園は、不登校等を経験した子どもたちの自立を支援する新しい学舎として平成6年10月に開設され、今年21年目を迎えます。現在、中学を卒業した23歳未満の男女が、不登校等によって進路発見が困難な状況にありながらも、自分の生き方や進路等を見つきたいとの思いをもって、体験活動や寮での共同生活を送っています。

本学園では、命の大切さを知り、人としてのあり方、生き方を学び、豊かな人間関係を築く力、未来を切り開く力をつけられるよう支援しています。その一環として、東日本大震災の被災地を訪問し、現地視察や講話、被災された方々との交流を通して、震災経験の無

い本学園生に「生きた防災教育」を実施しました。

また、学園生以外の方が、日帰りで参加できる「1日交流体験コース」も実施していますので、参加を希望される方は、神出学園までお問い合わせください。



問い合わせ先 県立神出学園 TEL078-965-1122

元気・やる気・自信・笑顔づくり

県立山の学校

県立山の学校は、豊かな自然の中でのさまざまな体験活動と寮での共同生活を通して、よりよい人間関係を育みながら、たくましく生きる力を培い、進路実現に向けて「元気・やる気・自信・笑顔」づくりを支援している修学期間1年の全寮制の学校です。本科生として、15歳から20歳までの男子が在籍していますが、近年では、学校生活に馴染めなかったり、不登校になった生徒が多く入学しています。

実習ではチェーンソーや刈払機を使つての環境整備や氷ノ山登山、千種川沿いの縦走等の野外活動を行っているほか、森林環境や林業についての基礎を学ぶ座学なども実施しています。

また、集団生活の中で、「命の大切さ」を学ぶために

例年講演会を実施しています。

学外者の支援である「チャレンジ体験山の学校」は、概ね25歳までの県内在住の男女を対象に、本科生のカリキュラムに準じて体験活動ができるよう、参加者を随時募集しています。参加を希望される方は、山の学校までお問い合わせください。



問い合わせ先 県立山の学校 TEL0790-62-8088

～青少年活動の現場から⑤～

「(一社) ガールスカウト兵庫県連盟」・「兵庫県青年洋上大学同窓会」の巻

兵庫県青少年団体連絡協議会(青団連)は、県内で活動する23の青少年団体が、各団体の主体性を尊重しながら相互に連携し、青少年活動を通じて青少年の健全育成を図るとともに、青少年が心身共に健康に育つ環境づくりに取り込むことを使命に活動しています。加盟団体の特色ある取り組みをシリーズでご紹介しています。

(一社) ガールスカウト兵庫県連盟

ガールスカウトは「少女と若い女性の可能性を最大限に伸ばすこと」を目的に活動する世界最大の社会教育団体です。少女一人ひとりの持つ可能性を引き出すために、体験による学びを重視しています。

「自己開発」「人とのまじわり」「自然とともに」を教育のポイントとして、野外活動、奉仕活動、環境教育、国際教育等さまざまな分野に取り組み、少女たちの実行力、コミュニケーション能力、責任感を身につけ生きる力を育む活動を日々行っています。



問い合わせ先

〒650-0011 神戸市中央区下山手通 4-16-3 兵庫県民会館 8F
TEL/FAX : 078-891-7025 E-mail : gshyogo@ceres.ocn.ne.jp
HP <http://www.gsj-hyogo.org/>

兵庫県青年洋上大学同窓会

兵庫県青年洋上大学同窓会は、地方自治体が主催する海外研修の参加者が、研修中に学んだことを地域社会に還元し、かつ会員相互の交流を図ろうと、昭和47年5月28日に発足。派遣の経験をもとに国際理解を深め、地域指導者としての立場と使命感を自覚して、心豊かな社会の実現に貢献することを目的としています。

現在は、この42年の歴史の中で培った「こころ」と「なかま」をテーマに年間を通じて会員相互の交流や様々な社会活動を展開しています。



問い合わせ先

〒650-0011 神戸市中央区下山手通 4-16-3 兵庫県民会館 7F
TEL/FAX : 078-891-7419 E-mail : info@hyogo-yodai.net
HP <http://hyogo-yodai.net/>

～information～

ひょうご青少年社会貢献活動認定制度 交流フォーラムへの参加者募集

ひょうご青少年社会貢献活動認定制度の関係者である参加青少年、事業実施団体、賛同企業、大学関係者等が一堂に会し、情報交換等を行い、認定制度のPRと推進を図ります。

人数	80名程度
参加費	無料
内容	事業実施団体活動発表、グループ討議
開催日	平成26年11月19日(水) 13:30～16:30
場所	兵庫県農業共済会館 7階 大会議室
問合先	青少年本部 活動支援部 078-891-7410

「体験の風をおこそうシンポジウムinひょうご」 への参加者募集

子どもや青少年の健やかな成長にとって「ふるさと」や「体験」がいかに大切であるかを広く家庭や社会に伝え、社会全体で活動を推進する機運を高めるためシンポジウムを開催します。

人数	250名程度
参加費	無料
内容	基調講演、活動発表等
開催日	平成27年1月24日(土) 13:00～16:30
場所	尼崎市中小企業センター1階多目的ホール
問合先	青少年本部 活動支援部 078-891-7410

賛助会員を募集しています

賛助会費は税制面での優遇措置の対象になります。
ご寄付いただいた方の名簿をホームページに掲載しています。

次代を担う青少年を育成するために、ぜひ皆さまのご協力をお寄せください。

[会費] 賛助会員(個人) 年額1口 2,000円以上

賛助会員(法人) 年額1口 10,000円以上

詳細は、兵庫県青少年本部、又は各地方青少年本部までお問い合わせください。

賛助会員カードを呈示すると、以下の施設で入館料・入園料割引等の特典を受けることができます。

- ◇施設 本人および同伴1名(神戸市立博物館は本人のみ)に団体割引料金適用
- ◇兵庫県民会館レストラン・喫茶「ピッコロ」・理容室「今井」 本人のみに10%割引
- ◇県立兎和野高原野外教育センター レンタル料割引

兵庫県立美術館

《特別展》
「だまし絵Ⅱ」
10月15日(水)
～12月28日(日)
TEL 078-262-0901
(神戸市中央区)

兵庫県立 人と自然の博物館

《ミニ企画展》
震災20年ひょうごの活断層
はぎとり展示
11月8日(土)～1月4日(日)
TEL 079-559-2001
(三田市)

兵庫県立考古博物館

《特別展》
鉄道がきた！
一舟運・海運・馬車道・鉄道—
10月4日(土)～11月30日(日)
TEL 079-437-5589
(播磨町)

兵庫県立歴史博物館

《特別展》
播磨と本能寺
9月27日(土)
～11月30日(日)
TEL 079-288-9011
(姫路市)

兵庫陶芸美術館

《特別展》
兵庫の陶磁
12月13日(土)
～2月15日(日)
TEL 079-597-3961
(篠山市)

阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター

「あれから20年、
もう一度ふり返る」
(詳細はホームページで)
TEL 078-262-5050
(神戸市中央区)

神戸市立博物館

《特別展》
メトロポリタン美術館
古代エジプト展・女王と女神
10月13日(月)～1月12日(月)
TEL 078-391-0035
(神戸市中央区)

兵庫県庁2号館 B1 食堂「のじぎく」

割引
コーヒー 300円→270円
(但し 11:00～14:00 除)
TEL 078-362-2509
(神戸市中央区)



ひょうご青少年憲章



- 1 自分を大切に、自らを律し、行いに責任をもって生きていこう
- 2 ふれあいを深め、正義感をもち、社会を担う一人として生きていこう
- 3 人の痛みや喜びを感じあえる心をもって生きていこう
- 4 多様な人々の存在を受け入れ、ともに支えあって生きていこう
- 5 自然を愛し、生命を尊び、みえない世界にも襟を正して生きていこう
- 6 先人に学び、明日に夢をえがき、勇気をもって未来を拓いていこう

◆◆ 編集後記 ◆◆

青少年のスマホ利用の現状について、聞く機会がありました。

「このぬいぐるみかわいくない？」

「このぬいぐるみかわいくない」

『?』を書き忘れただけで本当の気持ちが伝わらず、トラブルの原因になる事例を聞いて、びっくりしました。

便利なツールも、使い方を間違えると危険なツールになってしまうことを改めて感じ、しばらくガラケーでいくことにしました。

(N)